



ほっこり…



No.13 2017.5.18
 甲良町子育て支援センター
 所長 大橋

まわりの木々の緑がとてもきれいで、“さわやかな初夏！！”…ですね。
 子育て支援センターに着任して1年あまり…昨年の今頃はまだお座りだったり、片言だけだった子どもさんが今はちょこちょこ走ったり、「ちえんちえー、〇〇やで～」とお話してできるようになったり…本当にその成長ぶりには驚きます。この前も…

事務室のドア付近からAちゃんの声が…「手、はしゃまった～！！」

「えっ？ 手がはさまった？ ドアに？ 大丈夫？」…職員たちはびっくりして仕事の手を止めて、思わず入口扉の方を振り返ると…

身体はしっかり事務室の中に入って、左腕をわざわざ入口扉にはさみ、にんまり笑顔のAちゃんが。「手、はしゃまったで」…ちょっとドヤ顔のAちゃんに思わずデレデレになってしまいます。仕事中の職員に直接、「先生、一緒に遊ぼう」と言うよりも、こんなふうに声をかけた方が、気持ちがあこんで、私たちも思わず笑顔になってしまいます。もちろん、その後はAちゃんに誘われるように、手を休めて一緒に遊び始めていました。

そんな様子を見ていると、子どもって本当にすごいなあ～、人とかがかわる天才だわ…と感心してしまいます。他にもこんなこともありましたよ。

おもちゃを手いっぱい持って遊んでいたBちゃんがバランスをくずして転んでしまいました。口の中を切ってしまったBちゃんに応急手当をしようと、大慌てで滅菌ガーゼを持って座ると…

いつの間にか私を横に押し出すようにBちゃんの真ん前にちょこんと座ったCちゃん。私になりかわって手当をしようとしてくれています。

「ありがとうね。まるで看護師さんみたいだね」…お礼を言うと「どうちまーて（どういたしまして）。」とかわい笑顔のCちゃん。気持ちはすっかり一人前…なんですね。

にゅうようじき だいじ 乳幼児期ってほんとうに大事！！

大人からしてみれば、「余計に仕事が増える～！」とか、「先に自分のことをちゃんとやってよ」…と思ってしまうことが多いのですが、大人のすることをよく見ていて、自分もやってみたいと動き出す…こうやって、これから先、自分たちが生きていく世界のことを学んでいくんでしょね（大人への準備）。

この時期の子どもたちほど、「大きくなりたい」「一人前だって思われたい」という意欲や学ぶ力が爆発的に発達・発揮する時期はないと言いたいと思います。逆に言えば、この時期にこそ「自分頑張れる」「自分はすごいぞ」「世の中（自分のまわりの世界）は面白い」など、「生きる力」を育てる大事な時期だということですね。

危険なことや困ってしまうようなことはできるだけ子どもの目に触れないようにして「ダメでしょ！」って叱らなくてすむようにし、少々の失敗は許せるということはちょっとガマンで見守ってみませんか。乳幼児期の「自分で！」という意欲や、たとえうまくいなくても自分で挑戦することはその後の成長の大きな糧になります。「失敗はマイナスだ」と思いがちですが、失敗するからこそ、「もっといい方法はないか」と考える力を生み出すんですね。